

A. 日時2011 年 9 月 27 日（火）17 時 00 分～19 時 20 分

B. 場所建築学会会議室

C. 出席者 安藤 啓，岩本毅，大嶋拓也，岡野利行，坂本慎一，佐久間哲哉，田端 淳，中澤真司，羽入敏樹，濱田幸雄，平松友孝，宮島 徹，吉村純一，横山 栄（敬称略），安岡正人（敬称略，E. 審議事項の 2. のみ）
欠席者 井上勝夫，平光厚雄（敬称略）

D. 提出資料

2011 年度第 3 回音環境運営委員会議事次第

No. 3-1 2011 年度第 2 回環境工学委員会議題

No. 3-2 「都市・建築空間における音声伝送性能評価規準・同解説」講習会

No. 3-3 新刊案内 音環境の数値シミュレーションー波動音響解析の技法と応用ー

No. 3-4 音環境運営委員会ホームページ更新（案）

No. 3-5 「建築学会編：建築物の遮音性能基準と設計指針（第二版）：技報堂出版」改訂版作成のための小委員会設置願い（木村翔・安岡正人・大川平一郎・井上勝夫）

E. 審議事項

1. 前回議事録の確認

- ・ 配布できなかったので，9/25 付メール送信済のものを確認し，今月中を目途に訂正・指摘事項を幹事までお知らせ頂きたい。

2. AIJES（以下，アカスタ）と建築物の遮音性能基準と設計指針（以下，赤本）

- ・ 赤本の編著者を代表して安岡正人先生にお越しいいただき，遮音性能に関するアカスタと赤本に関する意見交換をおこなった。
- ・ 安岡先生から赤本改定版作成のための小委員会設置願いの提出があった。

3. 環境工学本委員会の報告

報告事項

- ・ 2010 年度小委員会活動成果報告がホームページに掲載されているのでご覧頂きたい。
- ・ 2010 年度出版物販売状況，全出版物の発行部数と販売部数が記載されている。赤本は 91 冊残。
- ・ 構造系は既刊本を使った講習会で販売部数増やしている。そういう方法をご検討頂きたい。
- ・ 東日本大震災調査復興支援本部：シンポジウムを 3/1,2 で計画中。投稿をお願いしたい。
- ・ 和田会長活動方針はホームページに載っている。
- ・ 良好な建築ストック形成検討小委員会委員推薦：環境工学はなし。

- ・ 2012 年大会：名古屋大学東山キャンパス 9/12～14。11/21（月）OS の提案締めきり。電子投稿締め切り 4/10(火)12:00。プロ編 4/25(水)13:00～。
- ・ デジタルライブラリ大会研究集会資料：無料で公開の方向で検討中。
- ・ 冊子版梗概集は廃止も含めて検討中。
- ・ 申請した予算の 70%以上（過去 5 年間平均）を使わないと是正措置が入る。室内音響小委：26%，音環境規準検討小委：35%，その他は一桁。
- ・ 環境工学懇親会の参加者 169 名（学生 67）で黒字決算。
- ・ 教育賞（教育業績賞）：安岡先生を推薦，環境工学でもう一名推薦があったが安岡先生に決定。
- ・ 卒業論文等顕彰事業委員会委員の推薦は熱環境から出す。
- ・ 2012 年度技術部門設計競技の課題：環境として見送り
- ・ 2012 年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類：締切 10 月 28，25 日までに濱田主査へ。
- ・ 大会の反省：適正な収容数の確保を要望した。200 名収容で 12～13 名程度のところもあった。要望をしっかりと伝えたいとのことであった。かなり溢れたことは事務局としても把握している。
- ・ 2012 年度の細分類・細々分類はメール審議の結果音環境は意見なしとした。
- ・ 直営出版物の絶版（在庫処分）：電磁環境は絶版にしないと決めたが財務でどうなるか判らない。
- ・ シンポジウム実施報告・計画：第 68 回及び第 69 回音シンポジウムは共に参加者多数であった。
- ・ 委員の委嘱：メール審議に凶った，峯村さん，永松さん，が正式に承認された。

審議事項

- 1) 活動計画案，予算原案，講習会等事業企画書の提出依頼。10/25 締め切り。濱田主査へ
- 2) 文化賞業績候補（学会員以外の個人）：候補がある場合は今月中に濱田主査へ
- 3) 大賞業績賞候補：候補がある場合は今月中に濱田主査へ。受賞時 70～80 歳が多い。木村先生で検討。
- 4) 2012 年度 OS の担当する小委員会を決め企画をまとめる必要あり。担当小委員会は測定法小委で検討
- 5) 運営委員会として，赤本改定版作成のための小委員会設置願いをどのように扱うか。
 - ・ 3 月予定のワーキングドラフトをみてもらったうえで改めて考えてもらえないか。今のままでは結論が出せない。
 - ・ 設置願いの中にもアカスタの評価規準を引用掲載するとある以上，ワーキングドラフトが決定してから改訂版の大纲を決定した上で，改めて設置願いを提出していただくようお願いしたい。
 - ・ 設置願いは提出資料として扱い，今後さらに継続して審議する。
 - ・ 議事録を安岡先生と井上先生に送付して，審議の結果（経過）をお伝えする。

4. 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会（中澤主査）

9/26 開催：A特性評価に関してダイレクト LA とバンド合成 LA の関係を引き続き議論した。

3 月に計画中のシンポジウムの内容を検討した。11 月の環境工学本委員会で承認をとるため，至急メール審議で承認手続きを進める。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

集合住宅内の静謐性について，過去の文献からクレーム事例を探して騒音レベルとクレーム発生の関係を分析し，判例や実測例を含めて規準値を検討している。

③ 建築音響測定法小委員会（宮島主査）

開催なし。

④ 室内音響小委員会（羽入主査）

開催なし。

スピーチプライバシWG：音響材料協会で David Sykes さんの講演会があり，建築学会マターではないが清水主査を中心に実施された。

音響指標WG：8/29 第4回開催。様々なインパルス応答を準備して様々な指標の計算方法を比較するベンチマークのひな型を作っている。

⑤ 音響数値解析小委員会（坂本主査）

開催なし。音環境の数値シミュレーションの新刊本をご活用ください。

音響数値解析ソフトウェア調査開発 WG（大嶋主査）：シミュレーションの実装に関するドキュメント化作業を継続している。

⑥ 音環境規準検討小委員会（平松主査）

8/5 第4回小委，9/9 合同WG，9/13 安岡先生との意見交換会を開催。2つのWGを3月で廃止し，企画刊行委員会傘下へ両WGを設置しコミッティ・ドラフト作成へ移行したい。

⑦ 企画・広報WG（峯村主査）

8/11 開催：研究動向調査について，分類の練習ケースで委員によるばらつきが出ないことを確認後，各委員に作業を依頼する。

住まい方マニュアルの検討は，対象者や日建連で進めている資料との違いについて意見集約がなかなか進んでいない。来期も引き続き検討の必要がありそう。

⑧ その他：音声伝送性能評価規準・同解説講習会案内

5. 他学会・研究会の予定

建築音響研究会

10月11日：東京 キャンパスイノベーションセンター

11月4日：早稲田大 騒音振動研究会&音バリアフリー調音委と共催，東日本大震災の音支援

6. その他

- ・ ホームページ更新について内容確認。議事録確認と同時に9月末までに訂正事項など岡野へ連絡願いたい。ニュースの日付訂正と更新，中澤委員の所属は研究開発部を削る。
- ・ 音響学会の講習会10月5～7：FDTD法，11月10～11：デジタル信号処理，11月24～25：心理学的測定法が開催されるので若手の方の参加を期待する。

7. 次回予定

- ・ 第4回音環境運営委員会は11/8（火）17時から開催する。

以上